

# 峠の向こうは春

## 11月は、どういう時期か？

11月に入り、今年もあと2ヶ月を切りました。3ヶ月で私立入試、4ヶ月で卒業式、そして5ヶ月後には、みなさんはもう長三中の生徒ではなくなります。さて、この11月が一番苦しかった！これが卒業生の感想で一番多いものです。

なぜ、11月が苦しいのでしょうか？

まず、大きな行事が終わり、否が応でも「受験(進路)」について考える時期です。つまり、逃げ場がないということです。

次いで、12月の進路希望を確定する三者面談までのテストは「期末テスト」のみとなり、自分の「報告書の成績」や「得点力」が見えてくる。つまり追い込まれる。

「進路希望を固めろ！」「どうしたいの！」と進路に対する決断を迫られる。

「親や教師が勉強しろとうるさく言う」・いやあ、これは事実ではありませんね。「学習しなさい！」は今までも言っていましたから。言われていることが以前より胸に突き刺さるから「うるさい」なのでしょう。でも、最も「勉強しなくてはいけない」と思っているのは、あなた自身のはずです。

「進路希望を決める」時期は「現実を見つめる」ことが求められ、その現実と「自分の夢(希望)」とのギャップに苦しめられるのだと思います。

さて、この時期になると、授業中などで学習に集中する人が大変多くなりますが、反対にその流れに乗れず、友だちとのお喋りに夢中になり、学習に向き合えなくなる人も出ます。そんな人には、しっかり指摘してあげることも大切です。言われるまでわからない人、言われて初めて分かる人、言われて逆ギレする人も世間にはいます。同じ教室で勉強する人間として、言って当然、言われて当然です！また放課後は、ほとんどの人が帰宅したり、教室に残って学習をしますが、一部の人が、校門周辺や下校途中で遊んだり、喋ったりして時間を過ごしている姿もあるのではないのでしょうか。

確かに、仲の良い人とたわいない話で盛り上がれば、その時は受験の苦しさを忘れることが出来ます。鬼ごっこをして走り回ってれば、夢中になって他のことを考えなくなります。

でも、ほとんどの受験生は、そんなふうにならず、自分の進路に向き合います。

なぜだか分かりますか？

それは、「進路希望を決めること」「受験に苦しむこと」は、将来の自分の幸福な生活を獲得するために必要だとわかっているからです。たとえ一時的に苦しい現実から目をそらしても、現状は変わりません。それどころか時間が過ぎれば過ぎるほど、さらに「追い込まれる」こととなります。

この「受験の苦しさ」や「将来への夢への挑戦」は、同じ中学3年生であれば共有できるものです。全国規模では数十万の「同い年」が受験に苦しみ、それを乗り越えて自分の進路をつかみ取ろうとしています。

だから、「しんどい！」「つらい！」と自分の苦しみを主張することはかまわないと思いますが、現実から目をそらしたり、逃げることはやめましょう。先日行われた二者懇で、自分の希望進路について、「可能性が厳しい」とか、場合によっては、変更を考えざるをえない人もいるかもしれませんが、そういった人も、現実から目を背けることなく、しっかりと考え込んでください。しかも、勉強を毎日続けながらということですよ。

今から12月の三者懇までの数十日間は、全ての受験生に同じだけあります。その時間を苦しんで過ごす人は、苦しんだ分だけ自分の進路と向き合ったこととなります。その活動は必ず、今後の人生において「価値」を持ちます。

さて、進路希望が決まっても、受験までにはまだ時間があります。でも、多くの卒業生は、「11月がしんどかった・・・」と言います。それは、目標が決まれば、「あとは頑張るだけ！」となるからです。今の「一番しんどい時期」をしっかり乗り越えましょう。

- 毎日、学習をしていますか？学習時間が以前より増えていますか？
- 授業中、最初から最後まで集中できていますか？
- 分からないことを先生に質問したり、友達に尋ねたりしていますか？
- まわりの人の思いに気づいていますか？
- 希望進路について、家の人と十分に話し合っていますか？

## 11月22日(火)の願書用写真について

さて、希望進路実現のために学習をしっかりすすめていくのは当然ですが、それと並行して学習以外の準備をする必要があります。その中の最初の重要な内容の一つが、願書用写真の撮影です。「人間は中身であって、見た目では判断してはいけない」、これは至極当然です。人として当然です。しかし、残念ながら、世の中には、姿形や着ている物などで、判断する人もいます。みなさんの中にもそんな人はいませんか？

では、「人の中身」とは何でしょうか？「他人に対するやさしさ」「困難な課題でもねばりよく取り組む力」「自分とは性格が違う人を認める心」「弱い人の立場に立って物事を考える力」など、いろいろなものがあるでしょう。その一つが「判断する力」だと思います。初めて接する人に横着で横柄な態度をとる人はいないでしょう。受験の場合で言うと、高校の先生に対して、自分の人間性やその高校を熱望していることをわかっていたいただくことが、この写真で求められています。自分という一人の人間の中身ににじみ出るような写真にすべきです。では、その写真のために皆さんはどんな判断をしますか？TPOを考えて、その場その場で判断する力も、「人間の中身」の一つです。そのことを考えてみてください。

### <11月の主な日程>

- 11月 22日(火)願書用写真・アルバム写真撮影
- 28日(月)・29日(火)・30日(水)期末テスト
- 29日(火)進路説明会(保護者対象)
- 30日(水)最終進路希望調査配付

※この希望調査に基づいて、12月14日～の三者懇談で受験校を最終決定します。

## 希望進路決定に向けて

二者懇談が終わり、第3回進路希望調査の提出、進路学習会も終わりました。二者懇の中で、高校の見学や説明会に充分参加できない人もいたようです。11月中にほとんどの学校が「学校説明会」を終え、「入試説明会」や「個別相談会」等に切り替え始められています。また、京都の私立高校が一堂に会して行う合同の「入試相談会」は、12月4日(日)に開催されます。必要な人は、必ず足を運んで自分の目と耳で確かめましょう。

また、保護者のみなさんには、いよいよ希望進路決定ということで、御家庭でいろいろと相談されていると思います。10月11月と多くの御家庭から連絡をいただき、電話での御相談、学校内での御相談など、お話をさせていただきました。もし何かございましたら、進路担当の方でお話をさせていただきますので、遠慮なく御連絡ください。